2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　チャットプラス株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　598A　　URL　https://chatplus.jp/corporate/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　大江　繭子
問合せ先責任者　(役職名)　取締役CFO兼管理部長　(氏名)　森下　俊光　　(TEL) 050-8882-5558

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年６月期第１四半期の業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	322	―	156	―	153	―	106	―
2026年６月期第１四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	22.99	21.27
2026年６月期第１四半期	―	―

(注)１．2026年６月期第１四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年６月期第１四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2027年６月期第１四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

２．2027年６月期第１四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、当社は2026年７月15日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2027年６月期第１四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	2,122	1,665	78.5
2026年６月期	1,318	753	57.2

(参考) 自己資本　2027年６月期第１四半期　1,665百万円　　2026年６月期　753百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	3.00	3.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,369	12.1	556	5.0	556	5.9	359	3.6	75.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	4,822,500株	2026年６月期	4,000,000株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	―株	2026年６月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	4,650,027株	2026年６月期１Ｑ	―株

（注）2026年６月期第１四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年６月期第１四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国の経済は、地政学的リスクや円安に伴う物価上昇、金融政策の動向等、不透明な状況が継続したものの、好調な企業業績や賃上げによる所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持しております。

一方、生成AIをはじめとする先端技術が社会や経済活動に与える影響への関心が高まる中、企業においては、生産性の向上や人手不足への対応を目的としたDXの推進が進展しております。また、カスタマーサポート機能の高度化、自然言語処理技術の進歩及び生成AIとの連携拡大を背景として、チャットボットの導入が進んでおります。

当第１四半期累計期間においては、Salesforce、kintone、Slack等の外部システムと連携し、AIエージェントによる顧客応対から、その後に発生する業務処理までを自動化する「AI AgentPlus Pro」（「AI AgentPlus」の上位プラン）の提供を開始しました。また、当該サービスを活用し、AI導入・業務設計、AIエージェント構築、業務自動化、既存システム連携、個別開発及び導入後の改善支援を行う「AXソリューション」の提供も開始しました。

当第１四半期累計期間においては、「AI AgentPlus」の上位プランであるSalesforce、kintone、Slack等の外部システムと連携し、AIエージェントによる顧客応対から、その後に発生する業務処理までを自動化するサービス「AI AgentPlus Pro」の提供開始及び当該サービスを活用し、AI導入・業務設計、AIエージェント構築、業務自動化、既存システム連携、個別開発、導入後の改善支援を行う「AXソリューション」の提供を開始しました。

当第１四半期累計期間の業績は、売上高は322,391千円、営業利益は156,899千円、経常利益は153,103千円、四半期純利益は106,914千円となりました。

なお、当社はSaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（売上高）

当第１四半期累計期間においては、利用者の質問意図を理解した柔軟な応対や、複数のAIエージェントの活用が可能な「AI AgentPlus」について、高い利便性が評価され、受注が堅調に推移しました。また、ナレッジの一元管理やFAQ記事の作成・更新の自動化により、FAQサイトの運用負荷を軽減する「FAQPlus」についても、アカウント数が堅調に増加しました。

加えて、カスタマーサクセス活動を通じて既存顧客企業の課題やニーズを把握し、アップセルの提案を推進するとともに、顧客の要望を踏まえたチャットボットシステムの機能改善及びセキュリティ強化を継続的に実施することで、サービスの付加価値及び信頼性の向上に努めてまいりました。

これらの取り組みにより、新規顧客の獲得及び既存顧客へのアップセルが進展しました。その結果、当第１四半期累計期間の売上高は322,391千円となり、2026年９月末時点のARR（注）は1,274百万円となりました。なお、当社が重視している経営指標の推移は、以下のとおりであります。

（注）ARR：Annual Recurring Revenueの略で、SaaSなどサブスクリプション型ビジネスにおいて継続的に得られる年間収益を言い、算式はチャットボットシステム及びFAQシステムのオプション料含む月額利用料金（年契約の場合は年契約金額÷12）の合計×12）

サービス別ARRの推移　（単位：百万円）

	2026年６月期				2027年６月期
	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	４Ｑ	１Ｑ
ChatPlus	719	677	661	637	647
AI AgentPlus	417	462	498	534	574
FAQPlus	28	31	38	42	51
ARR合計	1,165	1,171	1,198	1,214	1,274

サービス別アカウント数の推移　（単位：件）

	2026年６月期				2027年６月期
	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	４Ｑ	１Ｑ
ChatPlus	2,172	2,128	2,037	1,991	1,951
AI AgentPlus	161	175	197	211	225
FAQPlus	12	12	15	18	22
合計	2,345	2,315	2,249	2,220	2,198

（注）複数サービスを利用している場合は、サービスごとにカウントしています。

「ChatPlus」については、主に下位プランの減少により、合計の件数は減少しています。一方、「AI AgentPlus」、「FAQPlus」の増加により、ARRは毎期増加傾向にあります。

サービス別ARPA(注)の推移　（単位：千円）

	2026年６月期				2027年６月期
	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	４Ｑ	１Ｑ
ChatPlus	331	318	325	320	332
AI AgentPlus	2,592	2,643	2,528	2,533	2,553
FAQPlus	2,400	2,600	2,605	2,360	2,345
平均	496	505	532	547	579

（注）アカウントあたりの年間収益(ARR ÷ アカウント数)

１アカウントあたりの年間収益が高い「AI AgentPlus」及び「FAQPlus」の件数の増加に伴い、ARPA合計が上昇しております。

Churnレート(注)の推移

	2026年６月期				2027年６月期
	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	４Ｑ	１Ｑ
Churnレート	1.8%	1.8%	1.9%	2.1%	2.1%

（注）四半期最終月の直近12ヶ月平均の月次Churnレート

月次Churnレート＝当月解約件数÷(前月アカウント数合計＋当月新規契約件数)

(売上原価、売上総利益)

売上原価は73,430千円となりました。主な内容は売上高・利用量に伴うシステム利用料及び機能強化・機能追加に係る外注費になります。この結果、売上総利益は248,960千円となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は92,061千円となりました。主な内容は人件費及び展示会や見込客獲得に係る広告宣伝費になります。この結果、営業利益は156,899千円となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

営業外収益は1,239千円となりました。主な内容は受取利息の計上によるものであります。営業外費用は5,035千円となりました。主な内容は支払利息及び東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う株式交付費の計上によるものであります。この結果、経常利益は153,103千円となりました。

（特別利益）

特別利益は、ソフトウエアの売却に伴う固定資産売却益12,000千円の計上によるものであります。

（四半期純利益）

上記の結果、税引前四半期純利益は165,103千円となりました。また、法人税等58,189千円を計上した結果、四半期純利益は106,914千円となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べ806,359千円増加し、1,923,106千円となりました。主な要因は、東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う新株発行等により現金及び預金が800,936千円増加したこと、売掛金及び契約資産が5,333千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ2,386千円減少し、199,088千円となりました。主な要因は、機能追加開発等によるソフトウエア及びソフトウエア仮勘定の増加4,990千円、繰延税金資産の減少5,958千円によるものであります。

この結果、資産合計は2,122,195千円となり、前事業年度末に比べ803,972千円増加いたしました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ106,345千円減少し、401,382千円となりました。主な要因は、買掛金が10,888千円減少したこと、未払法人税等が57,355千円減少したこと及び契約負債が17,056千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ1,338千円減少し、55,760千円となりました。主な要因は、返済により長期借入金が1,527千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は457,143千円となり、前事業年度末に比べ107,684千円減少いたしました。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べ911,656千円増加し、1,665,051千円となりました。主な要因は、東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ408,618千円増加したこと、四半期純利益106,914千円を計上したこと及び配当金12,000千円を支払ったことによるものであります。

なお、2026年９月30日を効力発生日として、資本金が408,618千円減少し、その減少分を資本剰余金に振り替えております。本減資は純資産の部における科目間の振替であり、純資産総額に影響はありません。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の業績予想につきましては、2026年８月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年６月30日)	当第１四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,030,960	1,831,897
売掛金及び契約資産	61,416	66,750
仕掛品	90	308
前渡金	11,921	13,409
前払費用	12,151	10,605
その他	316	208
貸倒引当金	△109	△72
流動資産合計	1,116,746	1,923,106
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	63,711	63,711
減価償却累計額	△10,881	△12,007
建物附属設備（純額）	52,830	51,704
工具、器具及び備品	8,059	8,059
減価償却累計額	△4,452	△4,716
工具、器具及び備品（純額）	3,607	3,343
有形固定資産合計	56,437	55,047
無形固定資産		
特許権	128	117
商標権	224	206
ソフトウエア	47,563	50,179
ソフトウエア仮勘定	5,004	7,378
無形固定資産合計	52,920	57,882
投資その他の資産		
出資金	100	100
繰延税金資産	26,175	20,216
敷金	65,842	65,842
投資その他の資産合計	92,117	86,158
固定資産合計	201,475	199,088
資産合計	1,318,222	2,122,195

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年６月30日)	当第１四半期会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,854	20,966
短期借入金	14,990	9,980
１年内返済予定の長期借入金	15,984	10,812
未払金	15,756	10,766
未払費用	20,823	16,733
未払法人税等	109,167	51,811
契約負債	255,248	238,192
預り金	5,274	3,442
賞与引当金	5,893	9,680
役員賞与引当金	6,500	6,500
その他	26,235	22,496
流動負債合計	507,727	401,382
固定負債		
長期借入金	9,131	7,604
資産除去債務	47,968	48,156
固定負債合計	57,099	55,760
負債合計	564,827	457,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	－	817,236
利益剰余金	743,394	838,308
株主資本合計	753,394	1,665,544
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	－	△493
評価・換算差額等合計	－	△493
純資産合計	753,394	1,665,051
負債純資産合計	1,318,222	2,122,195

（２）四半期損益計算書

（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第１四半期累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	322,391
売上原価	73,430
売上総利益	248,960
販売費及び一般管理費	92,061
営業利益	156,899
営業外収益	
受取利息及び受取配当金	965
その他	274
営業外収益合計	1,239
営業外費用	
支払利息	145
株式交付費	4,890
営業外費用合計	5,035
経常利益	153,103
特別利益	
固定資産売却益	12,000
特別利益合計	12,000
税引前四半期純利益	165,103
法人税、住民税及び事業税	51,959
法人税等調整額	6,229
法人税等合計	58,189
四半期純利益	106,914

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、SaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年７月15日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。これに伴い、2026年７月14日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）による新株式650,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ322,920千円増加しております。

また、2026年８月13日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した、丸三証券株式会社を割当先とする第三者割当増資による新株式172,500株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ85,698千円増加しております。

さらに、2026年９月29日開催の第11回定時株主総会の決議に基づき、2026年９月30日付で資本金408,618千円を減少し、その全額をその他資本剰余金に振り替えております。

これらの結果、当第１四半期会計期間末における資本金は10,000千円、資本剰余金は817,236千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期累計期間に関する四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第１四半期累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
減価償却費	5,549千円